

スタッフが日ごろよくお受けする相談について、まちスポ大津の理事“遠藤さん”がお応えします。みなさんの活動の参考になれば幸いです。



Q 団体って NPO 法人のことですか？

いろんな地域の活動で「団体」の募集があるのですが、「団体」って NPO 法人のことですか？



A 「任意団体」と「法人」がありますよ。

個人はボランティア、団体は NPO（非営利団体）といいます。団体には任意と法人と両方あります。団体とは会則があり、代表者などの役割があり、組織として動いているところです。ボランティアもグループになると NPO ですが、法人ではありません。法人になるには各々手続きがあり、法務局に登記をすることで法人になります。どういった法人にした方が良いのかは事業によるのでまたご相談ください。

【遠藤さん】まちスポ大津理事。前職は認定 NPO 法人まちづくりネット東近江事務局長。県内各地の中間支援活動に関わること 20 年、“滋賀の NPO のお母さん”とも称されます。

まちスポ大津は、“あなたの「やってみたい」を現実に”というテーマのもと、多様な人がつながり、広がっていくような活動に取り組んでいます。

自分たちの暮らすまちに笑顔を増やしたい、地域の困りごとを解決したい、そんな思いを、賛助会員になって一緒にカタチにしませんか？ご支援をよろしくお願いします！

オンライン入会手続きが可能になりました！

この度、クレジット決済によるオンラインでの入会手続きが可能になりました！

右の QR コードを読み込んでいただくと、別サイト「コングラント」から、決済手続きができます。引き続き、窓口での入会申し込みも受け付けています。

ご支援よろしくお願いします！



会員募集サイト
コングラントへ

クレジットカードで
会費支払い OK です！

◆賛助会員の声◆

「地元の皆さまの心の拠り所となる様に繋ぐ場として引き続き頑張ってくださいることを応援させていただきます！ Smile !」

NEW!

Welcome
autumn

募集しています

9/21
(土)

ママからはじまった
マンション防災



マンションに暮らすママ発信の防災コミュニティから学び気軽に話し合えるミニサロンです！

どんな工夫があったか？ぜひ話を聞きにきてください。

11/4
(月祝)

地域防災
つながるしくみづくり



頻発する災害。もしかして！とわが身にせまる危機を感じるようになってきました。日々の災害に備える取り組みや防災の知識を紹介します。入場無料。

11/30
(土)

5 周年記念事業！準備中



毎年、周年の時期に開催している事業です。今年度は 5 周年ということで、まちスポ大津の利用者や助成金採択団体などの展示・交流の企画を予定しています！

私たち、こんな活動をしています。

- ◎ 活動の育て（講座） ◎ 活動相談
- ◎ 情報収集・発信拠点 ◎ 交流の場づくり
- ◎ 「ハッシュタグ大津京」運営

公式サイト



まちスポ大津は皆様からの寄付で活動を行っています。右 QR コードより賛助会員へのご協力をお願いします。▶▶▶▶※年会費 1 個人 3,000 円 / 団体 5,000 円 右 QR コードよりクレジットカード納入可

「地球沸騰化」と言われる時代、9 月の時点でも厳しい残暑にさらされる日々が続いています。恒例の夏休み企画「プランチキッズ探検隊」もついに屋内集合に変更しました。今までのやり方を見直す“with 酷暑”の方法を考える時なのかもしれません。

紙面についてのご感想をお寄せください！



特例認定 NPO 法人まちづくりスポット大津

〒520-0021

大津市二本松 1 番 1 号ランチ大津京内

MAIL: info@machispo-otsu.net

https://machispo-otsu.net

TEL: 077-511-9814

FAX: 077-548-6758



い



発行：特例認定 NPO 法人まちづくりスポット大津
住所：滋賀県大津市二本松 1 番 1 号ランチ大津京内
https://machispo-otsu.net

contents

コミュニティスペースで！ ミニ講座&つなぐサロン

● まちスポ大津 5 年目の活動

2019 年 11 月の開設かすぐにコロナ禍となり、様々な制約の中で事業を行ってきたまちづくりスポット大津ですが、ようやく講座や啓発・交流事業など多様な形での活動ができるようになってきました。昨年度からは、連続 7 回の NPO 基礎講座を実施。NPO って？というそもそもの部分を学ぶ内容で、県内各地の中間支援組織や近隣の活動団体から参加いただきました。

この講座の実績から、活動のサポートにつながる学びの場の提供と、ハッシュタグ大津京の拠点性を活かした活動団体の情報交流の場として、さらに気軽に、切れ目なく場づくりに取り組めないかと考え、ハッシュタグ大津京事務スペース横のエリア「コミュニティスペース」を活用した活動づくりに取り組んでいます。

● 気軽に学ぼう！「ミニ講座」

特に今年度から始めたのは、活動のはじまりや、運営面のステップアップに関する学びの場としての「ミニ講座」と、テーマに応じた内容で話題提供者と活動する人の情報交流を行う場としての「つなぐサロン」の実施です。

【ミニ講座 開催概要】 活動をはじめるときの講座 (仲間とお金)

2024 年 5 月 25 日 (土) 10:30-12:00

参加者：5 名+講師・スタッフ 計 8 名

講師：遠藤恵子

(NPO 法人まちづくりスポット大津理事 他)

活動をはじめるときの講座 (運営：会則と事務)

2024 年 6 月 15 日 (土) 10:30-12:00

参加者：5 名+講師・スタッフ 計 8 名

講師：仲野優子さん

(NPO 法人しが NPO センター 専務理事)



ミニ講座では、まずは活動の一步目に役立つような内容を想定して「活動をはじめるときの講座」を開催しました。

仲間づくりや、任意団体について、活動運営のポイントとなる意思決定の仕方や、会計の管理などをゼロから知る方に向けて伝える内容にしました。

二度にわたる講座で、それぞれに活動始める前の「何をやればよいか」「どう始めよう」と悩みをもった方が参加してくださいました。毎回のあとは、活動の次の展開への相談や、同じ参加者と話が弾んだり、交流がしやすいようでした。コミュニティスペースのオープンさならではの気軽に和やかな雰囲気、それぞれの交流に生きていました。

今年度から任意団体を対象に限定した、まちスポ大津の「彩りはぐくむ」助成金についても併せて紹介、助成金採択につながった方もありました。活動が広がっていくきっかけとしてもよい機会となりました。

● 交流&情報交換! 「つなぐサロン」

テーマごとに情報交流を行う場「つなぐサロン」も今年度のコミュニティスペース活用事業の一つです。初回には「低体重出生児」を持つママたちの交流サークル「滋賀の COAYU」代表 小島さんを招いて「知っていますか？ “リトルベビー”」を開催しました。この企画は、まちスポ大津とつながりのある助産師や保健師の方など多くの申し込みがあり、急遽シェアスペースを使っでの交流会となりましたが、テーマに関連した多様な活動を行う実践者が集い、取り組みに実情と今後の課題を共有する場として、充実した情報交換ができました。

【つなぐサロン 開催概要】
知っていますか？ “リトルベビー”
2024 年 5 月 25 日 (土) 10:30-12:00
参加者：19 名
(滋賀の COAYU から 5 名含む)
ゲスト：小島 かおりさん
(リトルベビーサークル
「滋賀の COAYU」代表)



ミニ講座、つなぐサロンともに、これまでからまちスポ大津の活動でつながりがある方と、新たな告知を通じて参加された方がうまく出会い、関心ある分野で交流が育める機会になっていました。双方の取り組みを継続して行い、活動支援とつながりづくりの拠点としてさらにサポート体制の充実を目指したいです。

緊急防災企画 親子で考える災害時の備え

まちづくりスポット大津では、毎年防災の大切さを発信する活動を行ってきました。2023 年度は、元旦に発生した令和 6 年能登半島地震の大きな被害を目の当たりにし、防災への意識をより高めようと、3 月最終日に防災に関する展示・ワークショップを行いました。

【開催概要】

2024 年 3 月 31 日（日）午前
場 所：まちづくりスポット大津
内 容：防災展示・防災手帳づくり WS
参加費：無料

● 防災を知って、備えよう！

開催日の 3 月 31 日（日）は、まちスポ大津が運営する「ハッシュタグ大津京」シェアスペースの利用者の方が出店・発表される「ハッシュタグフェスタ春の文化祭」が行われ、ランチ大津京はとても賑やかでした。まちスポ大津でも、防災について考える機

会を作りたいと、この日に合わせて防災展示企画を行いました。



● いろいろな防災展示

滋賀県防災対策室や大津市危機・防災対策課に協力いただき、防災啓発のパネルを借り、館内に展示しました。屋外からも足を止めて見ておられるようでした。ランチ大津京のテナント「エコイトランチ大津京店」からもアルファ米商品の情報を提供いただき、展示しました。

また、個人で準備されている災害時非常持ち出しのリュックもお借りし、実際に持ってみてもらうことができました。災害直後に「と

りあえずこれを持って逃げたらよい」という視点で整理された非常持ち出しリュックのため、着替えの他には飲料水も入れてあり、なかなかの重量感でした。子どもが実際に背負ってみたり、緊急時の対応を具体的に考えるよいツールになりました。

● ワorkshopで考えよう！

突然に災害に遭った時必要になる大事な情報をまとめた「防災手帳」を作るワークショップを行いました。「防災手帳」の意義を説明したうえで、別々の場所で被災したときに大事な情報として、家族に連絡先や、どこで合流するかや、健康上のリスクなどを書き留めていきました。親子も、みんなが持っていることが大切なので、子どもたちにも作ってもらい、いざというときの対応を話し合う機会となりました。



聞きたい！みんなのボランティア活動、地域の活動のこと

2 回目の「つなぐサロン」として、「聞きたい！みんなのボランティア活動、地域の活動のこと」をテーマに、実際に地域で活動されている方を招き、お話を聞きました。

7 月 27 日（土）のゲスト「比叡山坂本観光ボランティアガイドの会・石積み（以下、石積み）」代表の伊藤さんは、「観光に来られる方はもちろん、坂本に住む人たちに坂本を知ってもらいたい」という思いで活動をされているそうです。現在は 40 名の会員が活動されています。2 団体目のゲスト「花好き会」は、月に 1 回第 4 土曜日に JR おごと温泉駅周辺の花壇の手入れをされているボランティアグループです。おごと温泉に訪れる方が利用す



る駅でもあるので、駅前に草が生い茂ってはいけないうという思いから活動をスタートされました。

8 月 6 日（火）は「地域福祉サポーターとんかち（以下、とんかち）」代表二階堂さん、「つぼみ」代表岡野さんをゲストに迎え、お話を伺いました。「とんかち」は、児童クラブで昔遊びを教えたり親子向けイベントで木工工作のワークショップをされています。二階堂さんが「作品が出来あがった時の子どもの表情を見るのが何より嬉しいです」と言っておられたのが印象的でした。岡野さんが代表をされている「つぼみ」は、現在滋賀コミュニティセンターで月に 1 回、子ども食堂を開催されています。「子ども食堂の活動をしていると、人や地域の温かさに触れることがよくある。新しいつながりが生まれるのもとても面白いです」と活動の楽しさをお話してくださいました。

今回のつなぐサロンでの出会いが、今後のそれぞれの活動に繋がっていくことを期待しています。



【つなぐサロン開催概要】

聞きたい！みんなのボランティア活動、地域の活動のこと

【1】2024 年 7 月 27 日（土）10:30-12:00

①比叡山坂本観光ボランティアガイドの会・石積み 代表 伊藤さん

②花好き会 代表 河村さん

参加者：9 名

【2】2024 年 8 月 6 日（火）10:30-12:00

①地域福祉サポーターとんかち

代表 二階堂さん

②つぼみ 代表 岡野さん

参加者：8 名

共催：（社福）大津市社会福祉協議会

KON-KON! おじゃまします

今回はランチ大津京の中にあるテナント Flower produce ichica 代表取締役 岩上智佳子さんにお話をうかがいました。夏休みにあわせ、まちづくりスポット大津が主催する「あつまれ!! プランチキッズ探検隊」に開催当初より毎年参加いただいているテナントです。（以下、敬称略 / 聞き手：坂本）



岩上 智佳子さん
Flower produce ichica 代表取締役

● 起業のいきさつ

坂本：なぜ今の仕事に？

岩上：祖父が菊の生産農家で幼い頃から花に携わることが多く、また手に職をつけたいという思いもあり、学生時代は花屋でアルバイトをしていました。

卒業後は一般企業に就職し、学ぶこともたくさんありましたが、好きなことをしたいという思いが強くなり、思い切って花屋に転職しました。そこでは店舗販売だけではなく、冠婚葬祭のディスプレイやフラワーレッスンの講師などを一から学ぶことでさらに花の魅力にはまりました。

坂本：その後、起業のきっかけは？

岩上：地元滋賀へ帰るのをきっかけに、自分の理想を追求めるため夫の後押しも

岩上：過去には琵琶湖のヨシや地産地消の花を使って母の日のフラワーギフトや、子どもの感性を育てる花育としてフラワーアレンジのワークショップを開きました。メッセージカードには滋賀県産木の廃材を使っています。

また Biwako Sweet Project としてお客様にご購入いただいた代金の一部を琵琶湖の環境保全を目的に寄付しています。

● これからのこと

坂本：これからの夢や目標を聞かせてください。

岩上：環境活動への取り組みは、売上の一部を寄付することから始めました。しかし、寄付したお金がどのように使われ、社会や環境の役に立ったのかがお客様に伝わりづらいと感じていました。

ichica には子どもから高齢者の方まで、いろんな方がお花を買いに来られます。日常で家に花を飾るためであったり、一世一代のプロポーズのための花束であったり。目的は色々ですが、地域の様々なお客様と出会い、繋がることのできるお店の特徴を活かし、

寄付活動だけでなく、環境活動への取り組みを周知するという活動を始めました。



フラワーアレンジメントのワークショップも行う

Biwako Sweet Project では、花を求めてこられる方の花束や、アレンジメント商品に地産地消のバラやヨシを使うことで、そのお客様だけではなく花束を贈られた方へもより地産地消を知ってもらえると思いました。このように地域での小さな取り組みから、環境活動への輪を広げていきたいです。

通常総会を開催しました！



2024 年 5 月 30 日（木）NPO 法人まちづくりスポット大津の第 4 回通常総会を開催しました。

ご参加いただいた会員の皆様に、2023 年度の事業報告と決算を承認いただきました。

●2023 年度を振り返って

様々なことで動きが増えた年度でした。コロナが 5 類感染症移行となったためか、企画に関する相談が増えました。講座では、Canva 講座や NPO 基礎講座など、基本的なスキルや知識習得につながるものを中心に実施し、他地域の中間支援組織の方なども参加してくれました。

シェアスペース利用も増加、稼働率が過去最高値となるなど、様々な活動が復活してきている様子を強く感じた 1 年でした。

●数字で見る 2023 年度

- ・講座や企画の数…21 件
- ・参加者数…のべ 587 人
- ・相談対応数…434 件
 - うち個別相談「わかばサロン」15 件
- ・年間来館者数…22,179 人



過去の事業報告書と決算報告書は、QR コードのリンク先、ページ下部にて公開しています！ぜひご覧になってください。